

■尾上梅幸(6代) 歌舞伎役者。5代中村歌右衛門とは女方の双壁。博識で、芸談集「梅の下風」は女方の教科書。

おのえびいこう

初の日刊新聞1870＝ 名古屋で、尾上朝次郎の子に生まれる。\_3代菊五郎の孫。

明治6年政変 1873＝ 3歳：

三つの内乱・1876＝ 6歳：名古屋で初舞台をふみ、

沖縄県編入・1879＝ 9歳：

舞踊家・西川鯉三郎の門下で西川栄之助と名のっていたが、

明治14年政変1881＝11歳：

新体詩抄・・1882＝12歳：\_名古屋に巡業した5代尾上菊五郎に認められ、上京してその養子となる。

内閣発足・・1885＝15歳：千歳座(明治座の前身)の開場興行で「筆幸」の娘お霜をつとめ、尾上栄之助の名で初舞台。

\_養父にきびしく指導され、娘役から養父の相手役まで多くの芸域で実力をつけ、

初の対等条約1888＝18歳：

帝国憲法発布1889＝19歳：

大津事件・・1891＝21歳：\*新富座で5代栄三郎と改名、名題に昇進。

\_5代中村歌右衛門とならび、女方の双壁として活躍。

日清戦争始・1894＝24歳：

日清戦争終・1895＝25歳：

八幡製鉄始・1897＝27歳：

日比谷公園・1903＝33歳：\*養父菊五郎の死にともない、嫡子である弟丑之助の6代菊五郎相続と同時に、6代梅幸を襲名、歌舞伎座の「曾我の対面」で十郎をつとめ、披露した。

日露戦争終・1905＝35歳：

満鉄発足・・1906＝36歳：

大逆事件判決1911＝41歳：\*開場した帝国劇場の専属の芸芸委員長となり、

明治天皇没・1912＝42歳：

昭和期になって\_帝劇が松竹の経営になるまでの20年間、その座頭をつとめる。

21ヶ条要求・1915＝45歳：

当たり役は15代市村羽左衛門との名コンビで知られた「切られ与三」のお富、「直侍」の三千歳などの世話物のほか、「忠臣蔵Lのおかる」、「合邦」の玉手御前など。細面・長身の特徴ある体軀をいかし、音羽屋の家芸であるお岩・累・豊志賀・土蜘蛛・茨木など、怪談狂言や妖怪変化の役にも傑出していた。

原敬首相暗殺1921＝51歳：

護憲三派圧勝1924＝54歳：

金融恐慌・・1927＝57歳：

\_舞台への博識で広く尊敬をあつめ、

海軍軍縮条約1930＝60歳：\*この年刊行された芸談集「梅の下風」は女方の教科書として高く評価されている。

満州事変・・1931＝61歳：

国際連盟脱退1933＝63歳：

帝人疑獄事件1934＝64歳：\*翌年5代菊五郎追善興行で引退披露を決意していたが、これをまたず、歌舞伎座出演中に倒れ、急逝。